4. アンケート集計結果

4.1. 集計に際しての留意点

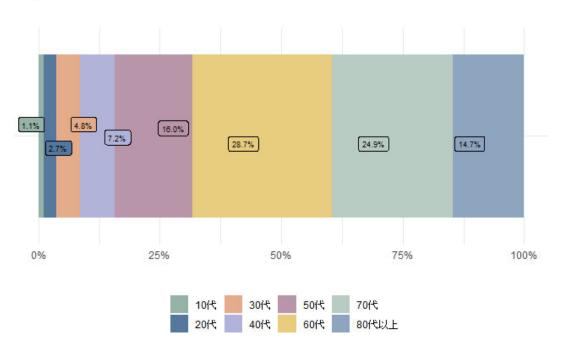
前頁に示したとおり、本調査での回収数は調査地区によって異なっており、一部には極端に多い地区や少ない地区がある。そこで、集計にあたっては、各地区のサンプルが等しくなる様に調整を行った。

4.2. 食品・日用品小売サービス

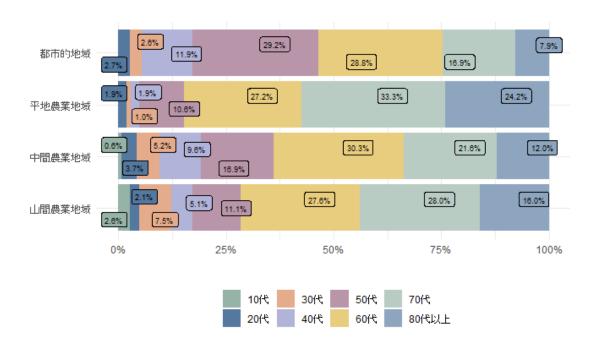
4.2.1. 回答者の年代

(1) 全体

回答者の年代は、約7割が60歳以上である。

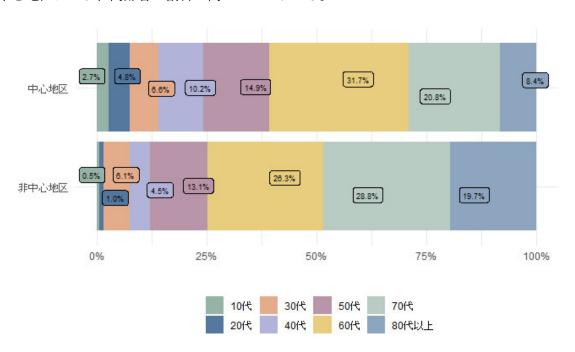


農業地域類型別に比較すると、もっとも高齢者の割合が少ないのが都市的地域であり、 もっとも高いのが平地農業地域となっている。



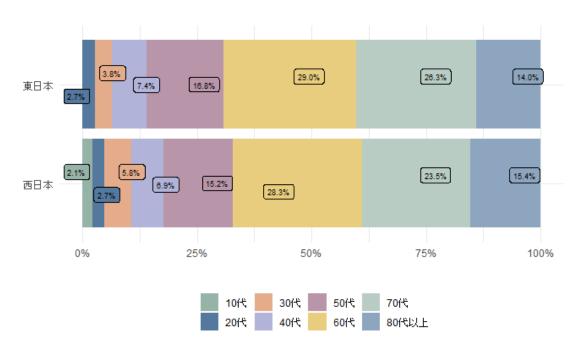
(3) 中心地区·非中心地区别

令和2年度調査では、中間農業地域及び山間農業地域において、中心地区と非中心地区の両方で調査を行った。ここで、中心地区とは、同一旧市町村内に食料品日用品サービス、金融サービス、ガソリンスタンドの全てがそろっている地区であり、非中心地区はそれぞれの施設しかない地区である。 中山間地域のみを抜き出し、年齢構成を見ると、非中心地区はより、高齢者の割合が高いことがわかる。



(4) 地域別

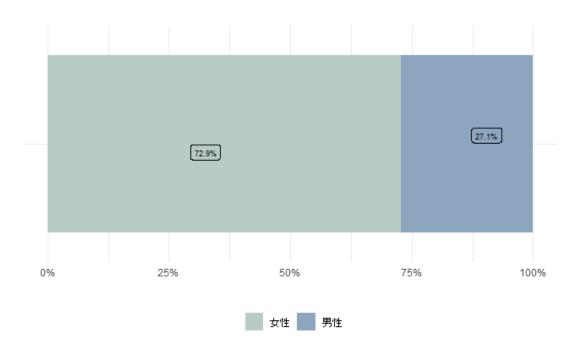
地域別に比較すると、大きな違いは見られない。



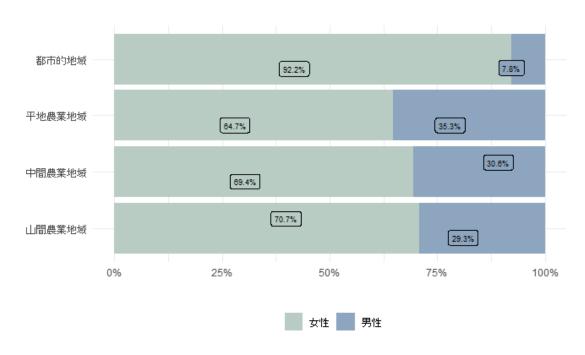
4.2.2. 回答者の性別

(1) 全体

回答者の約7割が女性である。

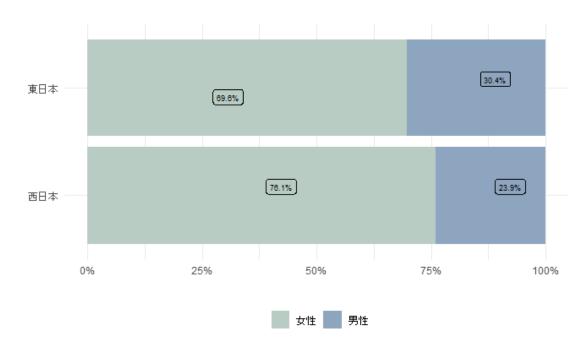


農業地域類型別に性別を見ると、都市的地域で9割以上が女性である。



(3) 地域別

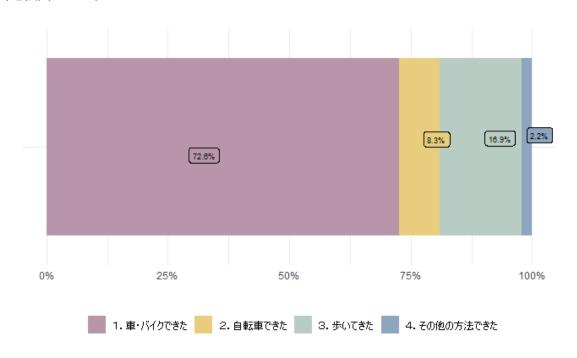
地域別に見ると、西日本の方が若干女性比率が高い。



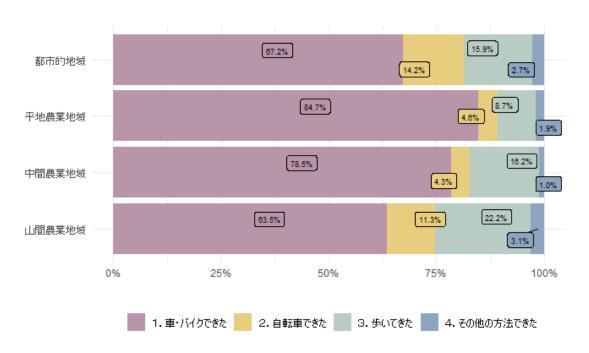
4.2.3. 来場の方法

(1) 全体

約7割が「車・バイクできた」と回答している。その他の方法の多くは、バス等の公共 交通機関である。

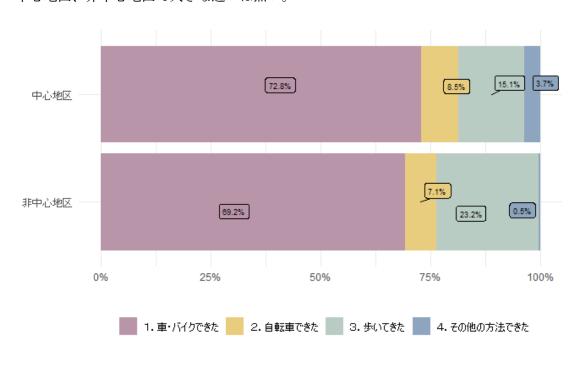


農業地域類型別に見ると、都市的地域、山間農業地域では「車・バイクできた」比率が 低い。



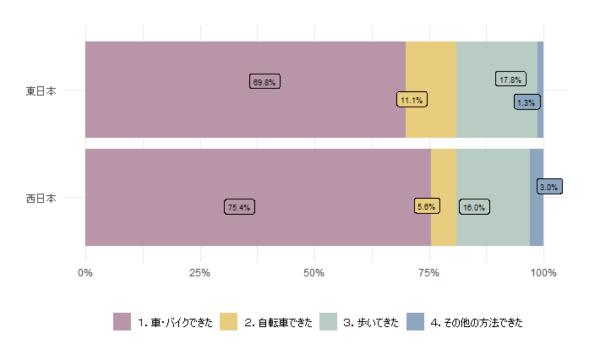
(3) 中心地区·非中心地区别

中心地区、非中心地区で大きな違いは無い。



(4) 地域別

地域別に見ると西日本において、若干「車・バイクできた」比率が低い。



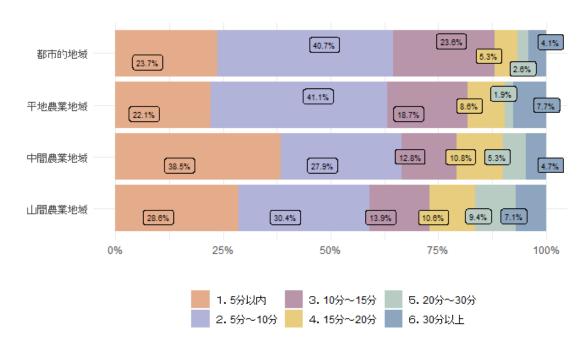
4.2.4. 所要時間

(1) 全体

所要時間は約6割が10分以内であるが、30分以上かかる地域からきている人もある程度いることがわかる。

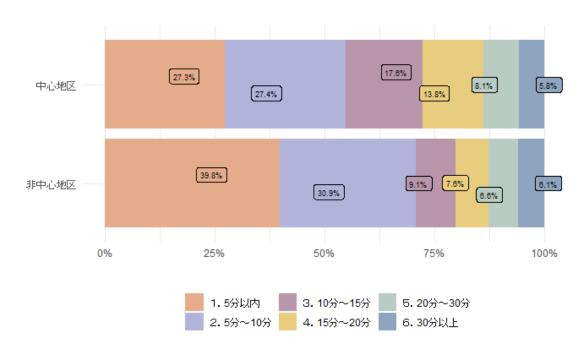


中山間地域になるに従い、15分以上かけて来場する割合が高くなっている。。



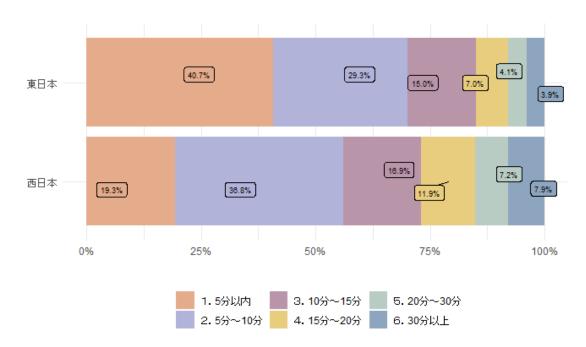
(3) 中心地区·非中心地区别

非中心地区の方が所要時間は短くなっている。



(4) 地域別

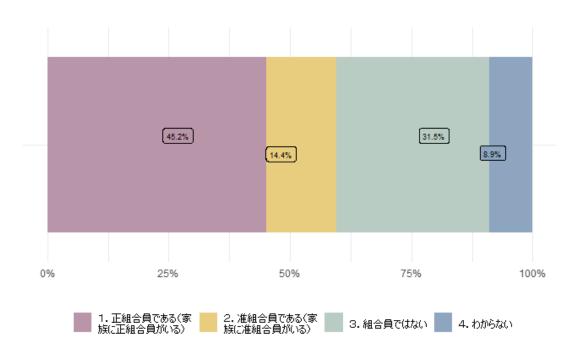
地域別に見ると、東日本の方が所要時間が短い。



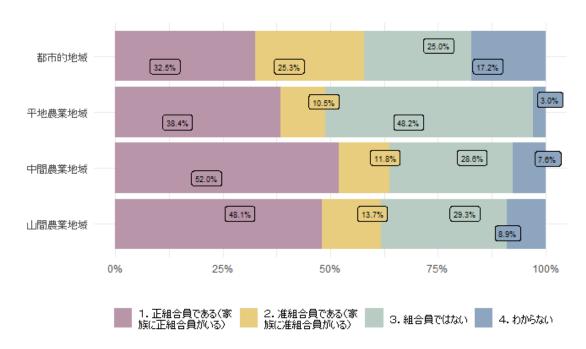
4.2.5. JA への加入状況

(1) 全体

正組合員である割合が4割程度であり、組合員でない割合が3割程度となっている。分からないとの回答が1割程度あるが、組合員でない可能性が高いとも思われる。

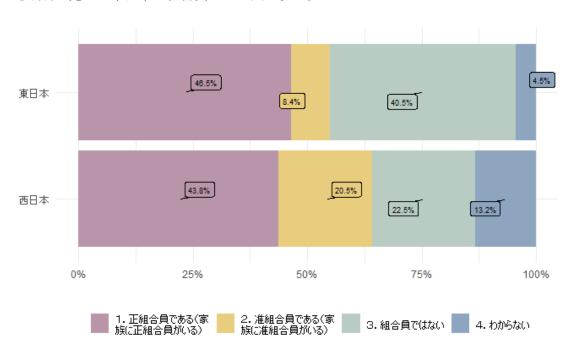


都市的地域では、正組合員率が低く、准組合員率が高くなっている。



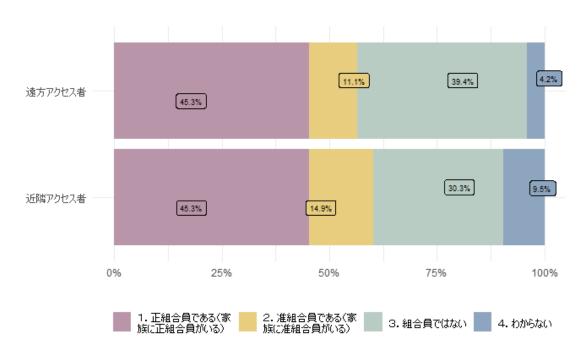
(3) 地域別

地域別に見ると東日本で組合員でない人が多い。



(4) アクセス状況別

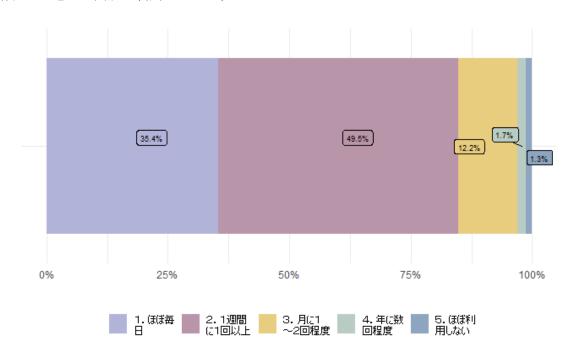
徒歩で15分以上、自動車で20分以上かかると回答した人を遠方アクセス者と定義し、遠方アクセス者、近隣アクセス者別に加入状況を比較したが、あまり大きな違いは見られなかった。



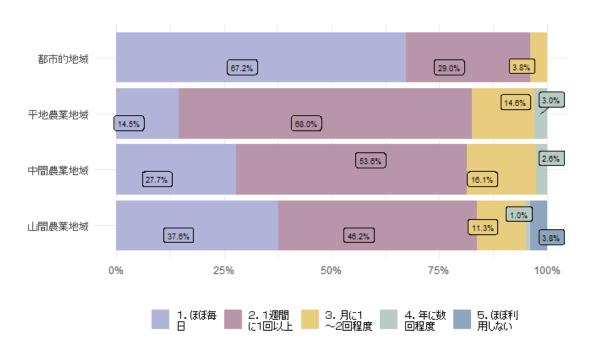
4.2.6. 利用頻度

(1) 全体

利用頻度を見ると「1週間に1回以上」が半分程度であり、「ほぼ毎日」と併せると8割以上が週に1回以上利用している。

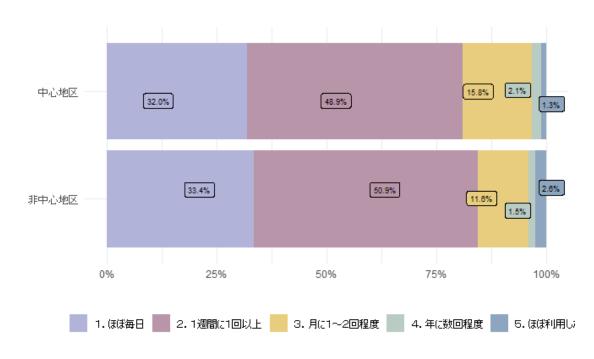


農業地域別にみると都市的地域において利用頻度が高い。また、平地農業地帯の頻度が 低い。



(3) 中心地区·非中心地区別

中心地区、非中心地区で利用頻度に大きな違いは無い。



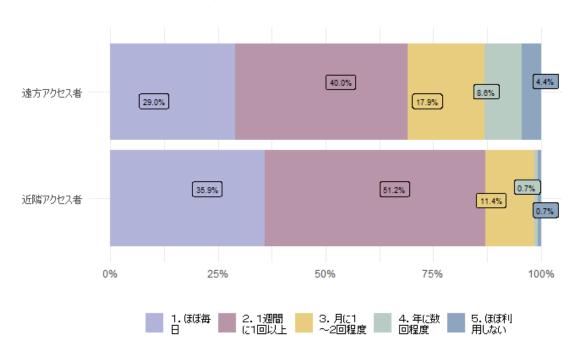
(4) 地域別

東日本において若干利用頻度が高くなっている。



(5) アクセス状況別

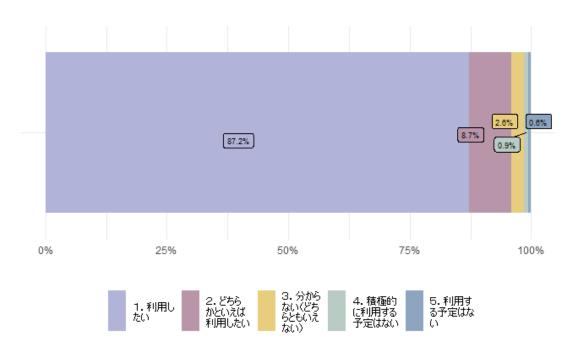
遠方からアクセスしている人の利用頻度は低い。



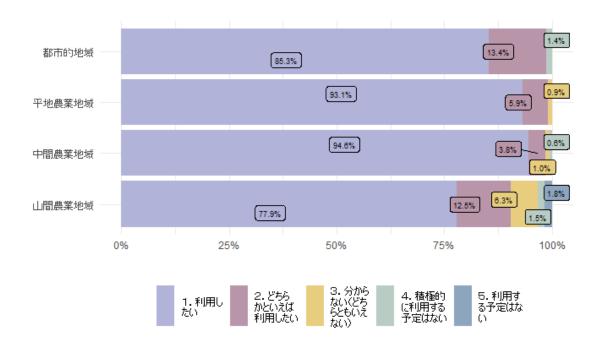
4.2.7. JA 施設の利用意向

(1) 全体

全体として、「利用したい」と回答した人の割合が非常に高い。

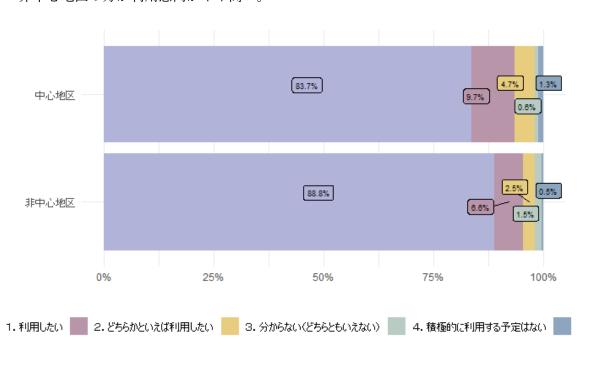


農業地域類型別にみても全ての類型で高くなっているが、都市的地域、山間農業地域で若干低くなっている。



(3) 中心地区·非中心地区别

非中心地区の方が利用意向がやや高い。



(4) 地域別

地域別に見ると東日本の方が利用意向が高い。



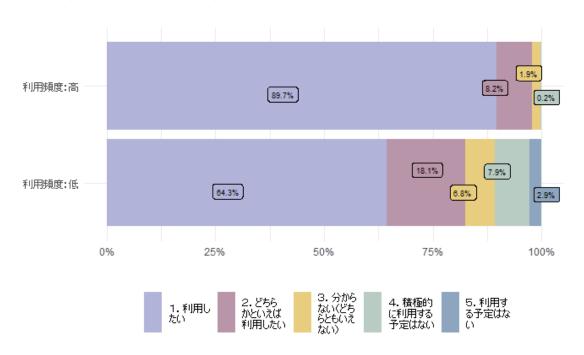
(5) アクセス状況別

遠方からアクセスしている人の方が今後の利用意向が若干低くなっている。



(6) 利用頻度別

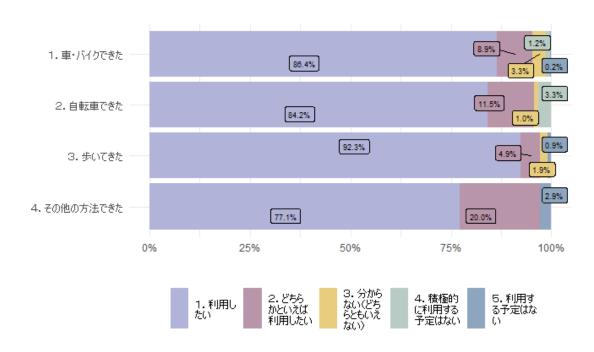
利用頻度が低い人の利用意向は低くなっている。



(7) 移動手段別

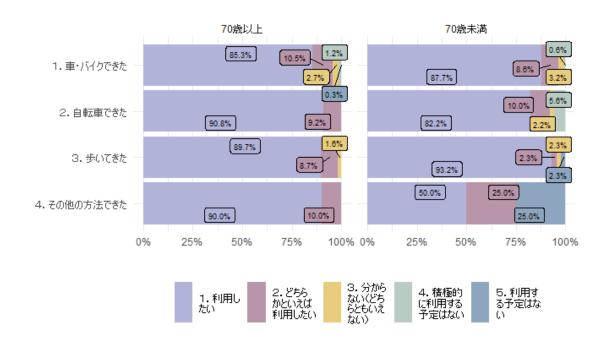
①全体

移動手段別にみるとその他の方法できた(多くがバスなどの公共交通機関)人の利用意向が低い。



②年齢別

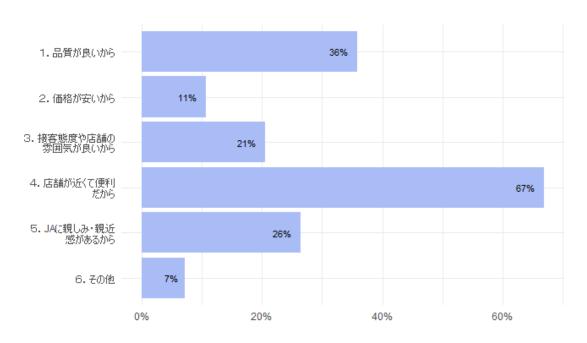
年齢別ではそれほど大きな違いは見られない。。



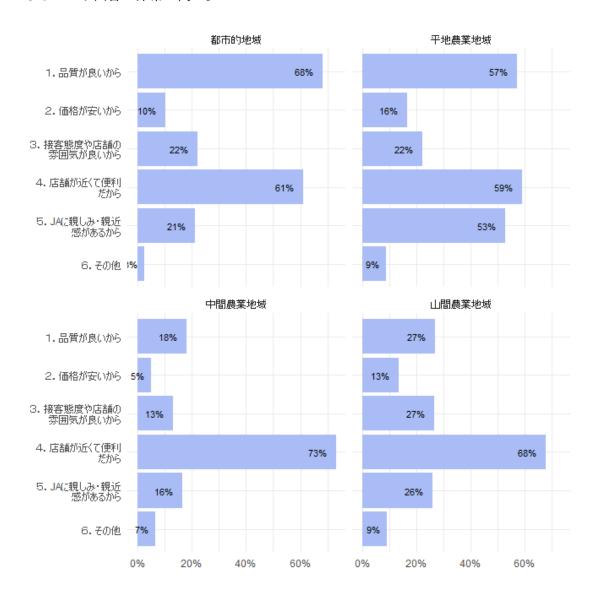
4.2.8. 今後も利用したい理由

(1) 全体

今後も利用したい理由として、「店舗が近くて便利だから」が最も多く、「品質が良いから」がそれにつづいている。「JA に親しみ・親近感があるから」との回答も 25%程度あった。



いずれの類型においても「店舗が近くて便利だから」は総じて高いが、品質については、都市的地域、平地農業地域における評価が高い。また平地農業地域では JA に親しみがあるという回答が非常に高い。



(3) 中心地区·非中心地区别

非中心地区では店舗が近くて便利という回答が多い。



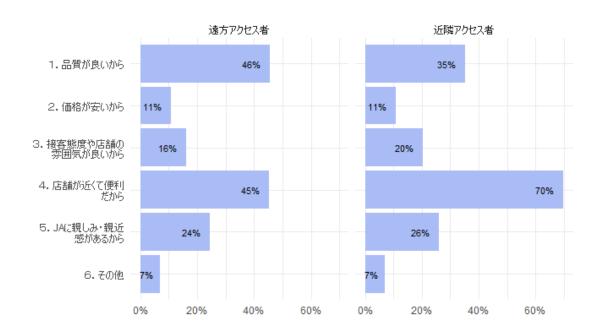
(4) 地域別

地域別に見ると、西日本において「JA に親しみがある」割合が若干高い。



(5) アクセス状況別

遠方からアクセスしている人は品質に対する評価が高くなっている。



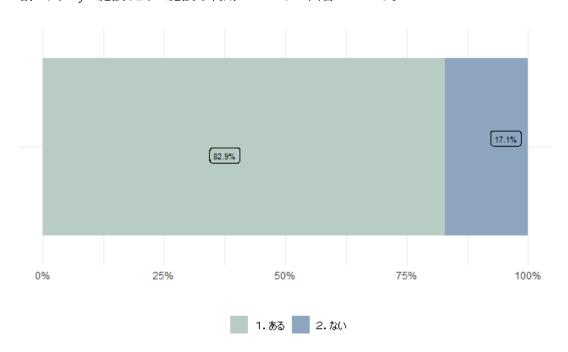
(6) 利用頻度別

利用頻度が高いほど、立地に対する評価が高い。



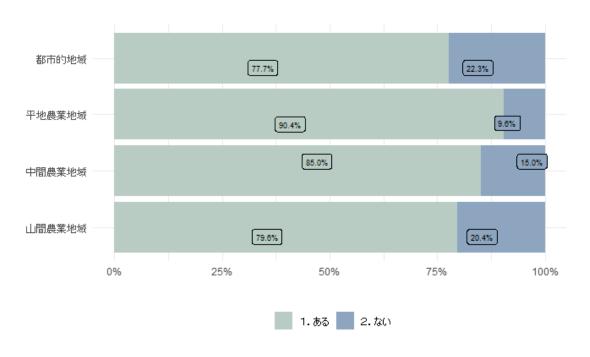
4.2.9. JA 施設以外の利用

8割の人がJA施設以外の施設も利用していると回答している。



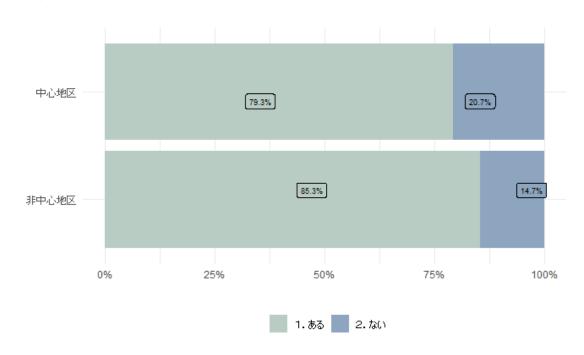
(1) 農業地域類型別

平地農業地域においては、JA 以外の施設を利用している割合が若干高い。



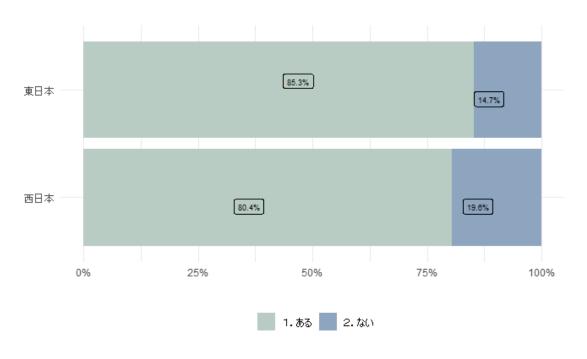
(2) 中心地区·非中心地区别

非中心地区の方が他の店舗を利用している割合が高い。



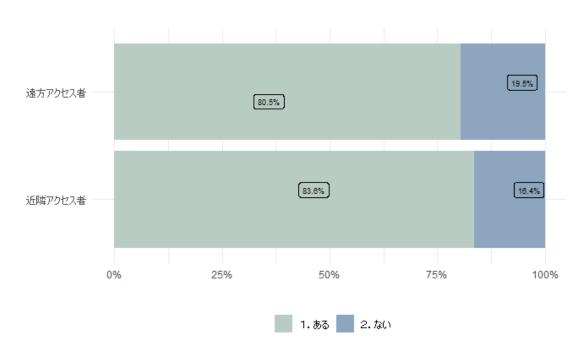
(3) 地域別

地域別に大きな差は見られない。



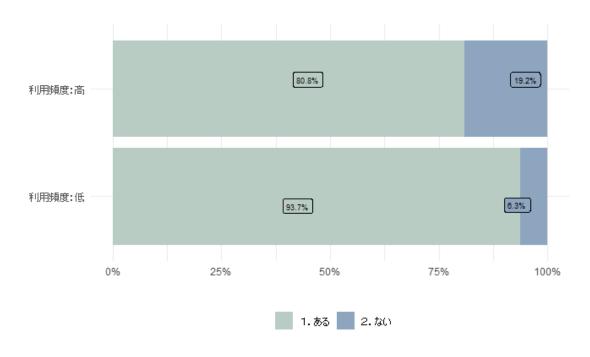
(4) アクセス状況別

アクセス状況別には大きな違いは見られない。



(5) 利用頻度別

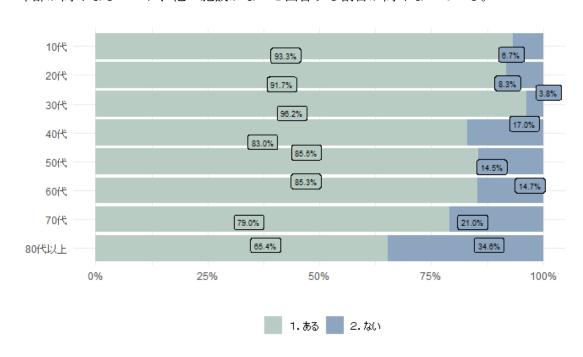
利用頻度が高い人の方が他の店がないと回答している割合が高い。



(6) 年齢層別

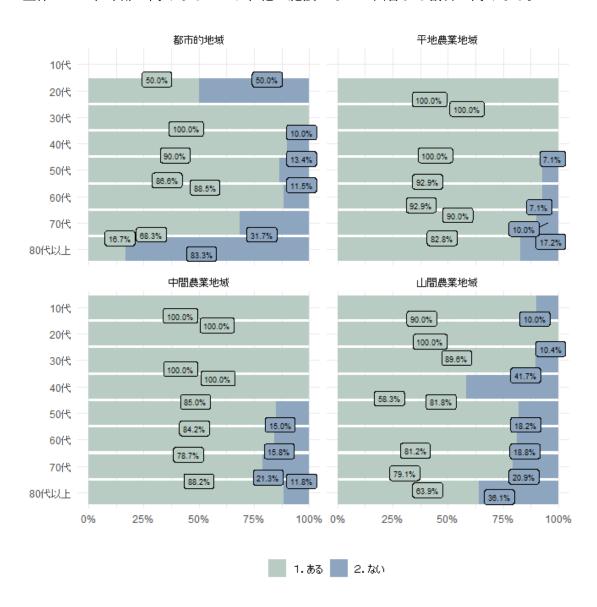
①全体

年齢が高くなるにつれ、他の施設がないと回答する割合が高くなっている。



②農業地域類型別

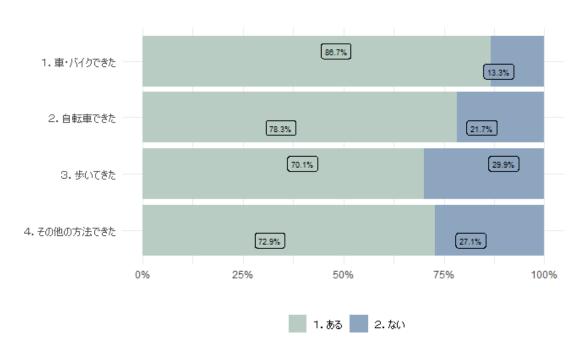
全体として、年齢が高くなるにつれ、他の施設がないと回答する割合が高くなる。



(7) 移動手段別

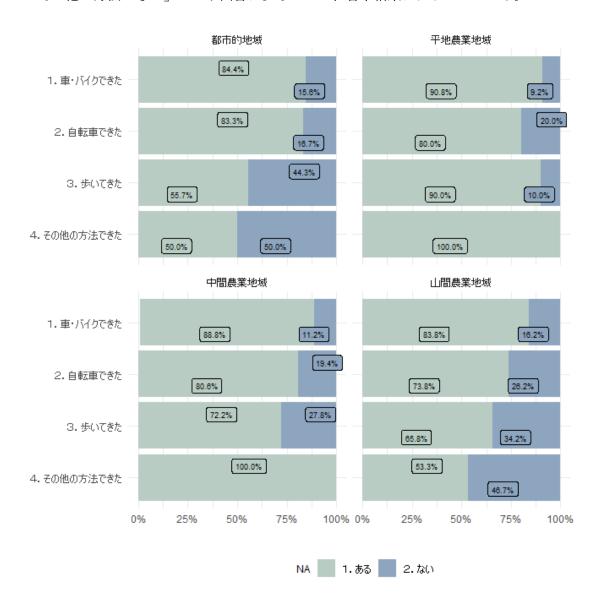
①全体

移動手段が自転車、歩き、その他(主に公共交通機関)であるほうが、他の施設を利用していないと回答する割合が高くなっている。



②農業地域類型別

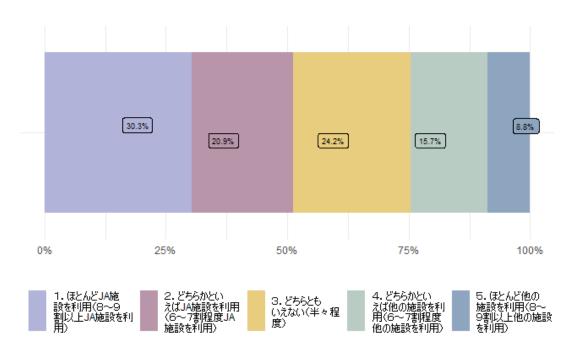
「その他の方法できた」という回答は少ないため、若干結果はばらついている。



4.2.10. 農協施設と農協以外の施設の利用状況

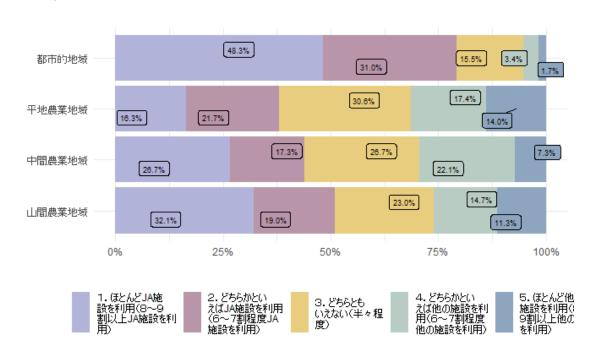
(1) 全体

約半分が6割以上農協施設を利用している。



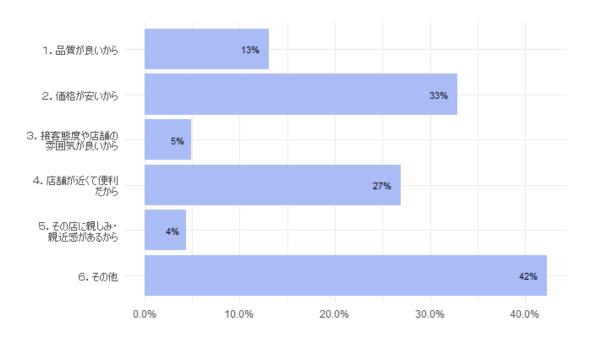
(2) 農業地域累計別利用状況

平地農業地域では他の施設を利用する割合が高い。



4.2.11. 他のスーパーマーケットを利用する理由

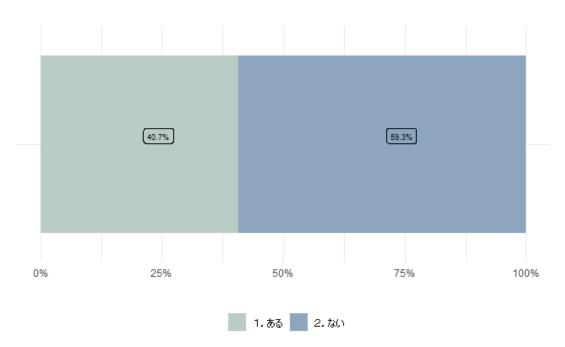
「その他」を選択される比率が非常に高い。店頭での会話等から類推すると、A コープに無いような商品を購入する場合、という意見が多く聞かれた。



4.2.12. 農協以外の施設の利用可能性

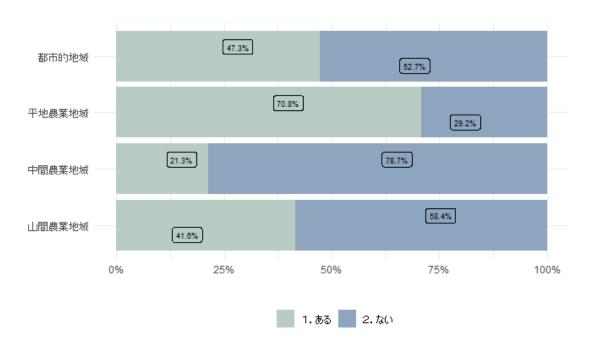
(1) 全体

農協以外の施設が利用できない割合は6割程度となっている。



(2) 農業地域累計別、農協施設以外の利用可能性

平地農業地域において、農協以外の施設が利用できない割合が低い。



(3) 中心地区・非中心地区別、農協施設以外の利用可能性

中心地区の方が他に利用できる店舗はないという回答が多かった。

